

「励広台1号」は株枯病菌の土壌感染にも強い

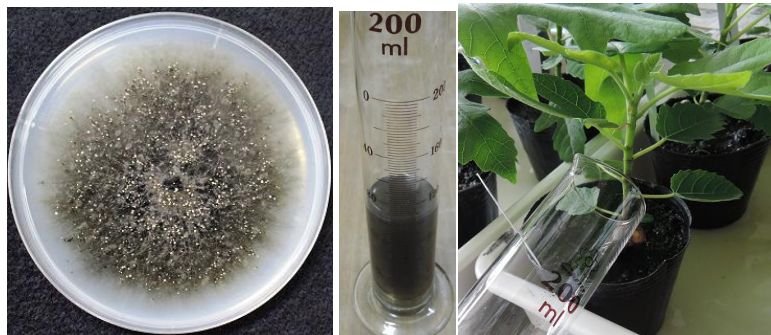
- ・農研機構との共同研究により野生種イヌビワとの種間交雑体「励広台1号」を育成
- ・幼苗への土壌接種試験により、イヌビワと同程度の抵抗性がある「励広台1号」はイチジク株枯病抵抗性台木新品種として期待できる

現地の被害



株枯病で樹が枯れる

土壌経由した接種試験



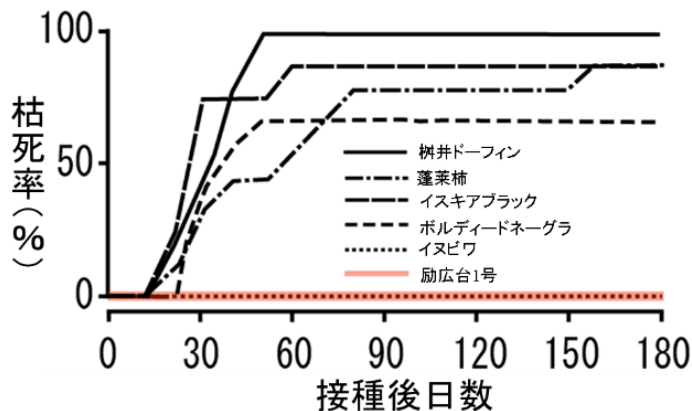
病原菌

接種源

土壌接種

試験結果

栽培品種や既存抵抗性品種が枯死する条件において、「励広台1号」は全く枯死せず



「励広台1号」は土壌経由の感染に対してもイヌビワと同等の強い抵抗性を有することを確認

今後の予定

「励広台1号」に栽培品種を接ぎ木した苗を汚染圃場で栽培し実用性を評価

*本研究は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」(JPJ007097)の支援を受けて行った。